



OAK  
CAPITAL

Oak キャピタル株式会社  
第154期 中間報告書  
2014年4月1日～2014年9月30日

## 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、平素より温かいご支援と格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当第2四半期累計期間(2014年4月1日から2014年9月30日まで)におけるわが国経済は、政府主導による日本再興戦略により、設備投資や輸出企業の業績が徐々に好転し、緩やかな回復基調が続いてまいりました。

米国の株式市場は、企業業績は堅調なもの、中国の景気動向、中東及びウクライナ情勢などの地政学リスクなどから、今後、下振れリスクが懸念されております。

また、欧州の株式市場におきましても、景気低迷から、新たな金融緩和策や景気刺激策への期待の高まりはあるものの、世界経済の先行き懸念は払拭されない状況であります。

一方、国内株式市場は、一時的な調整局面があるものの、日銀の追加金融緩和・円高是正に伴う企業業績の上方修正・GPIF(年金積立金管理運用独立行政法人)の運用方針変更による国内株式への運用拡大などから、投資家の株式市場への期待は高いと思われます。

国内経済の復調から企業の設備投資やM&Aは積極的となり、資本市場での資金調達は活発となっております。

このような環境のもと、当社は、成長支援投資として、継続的な成長支援や企業価値の向上に積極的に取り組んでまいりました。さらには、新興市場企業を中心に資本市場での資金調達ニーズは継続すると予想され、当社の投資銀行業務の主力事業であるエクイティファイナンス引受業務の役割も、より重要性を増してくると思われま。

引き続き、新興市場及び小型株市場の企業を対象とした資金調達支援や、再生企業向けの資本政策や成長戦略を側面から支援する投資銀行業務を展開し、通期におきましても過去最高益を目指してまいります。

今後とも皆様方の一層のご支援、ご愛顧を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

2014年12月

代表取締役会長 兼 CEO 竹井博康

## 業績サマリー

2015年3月期第2四半期の業績は、売上高(営業収益)が192.5%増(前年同期比)の51.52億円、経常利益は313.2%増(同)の15.01億円、純利益は336.4%増(同)の14.02億円と前期に比べ大幅な増収増益となり、投資銀行業務を開始して以来の過去最高益を達成いたしました。

中間期の各指標のハイライトとしては、売上高が2.9倍、純利益は4.4倍、1人当たりの純利益は3.6倍、純資産は1.6倍と大幅に伸長(前年同期比)しております。

当期間においては、新興市場向けの資金調達支援並びに事業再生に向けた成長戦略を側面から支援する投資銀行業務を展開した結果、投資に対するリターンを最大化することができました。

## 成長戦略

投資銀行業務と事業投資の2つの事業により、持続的な成長を実現するとともに、安定した収益構造と強固な財務体質を構築してまいります。

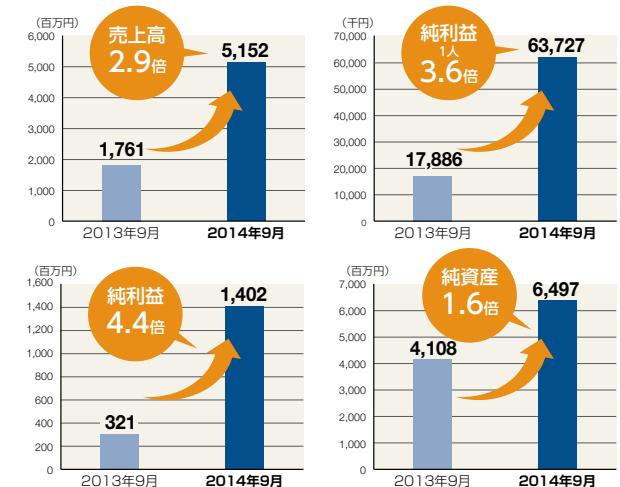
## 株主還元

経営の最重要課題は、復配であると捉えております。業績の拡大を図るとともに資本政策等により、復配の早期実現を目指してまいります。

## IR活動

当社事業や株式に対する興味を持っていただくため、機関投資家向けのIR活動に加え、東京証券取引所やメディア、証券会社主催のイベントへの参加出展等、個人投資家向けのIR活動も積極的に実施しております。

### ■ 各指標とも大幅伸長(前期比)



### ■ 当社の成長戦略



日経産業新聞フォーラム2014



取締役管理本部長 秋田 勉



**KLab株式会社**  
東証1部 3656  
ファイナンス引受総額  
**6.5億円**  
(2013年8月実施)



**株式会社アクロディア**  
東証マザーズ 3823  
ファイナンス引受総額  
**6億円**  
(2013年10月実施)



**株式会社大泉製作所**  
東証マザーズ 6618  
ファイナンス引受総額  
**3億円**  
(2014年1月実施)



**パス株式会社**  
東証マザーズ 3840  
ファイナンス引受総額  
**10億円**  
(2014年3月実施)

■ 投資先選定について

業界や業種問わず、客観的に見ても良い技術やアイデアを持っているにもかかわらず市場での評価が低い企業や、成長意欲の高いマネジメント及び経営者にフォーカスしています。それぞれの企業が抱える課題や問題に対し、当社が持つ経験や知見、蓄積されたノウハウを生かし、業績や企業価値の拡大が見込める企業に対し、資金支援・成長戦略構築支援など、当社が後押し出来るあらゆる支援を提供しています。

■ 注目の業界/業種 ■ インターネット関連 ■ メディア・コンテンツ関連 ■ サービス関連

執行役員  
投資事業本部副本部長

**槇野 冬樹**



**株式会社ガーラ**  
東証JQS 4777  
ファイナンス引受総額  
**5億円**  
(2014年3月実施)



**株式会社レッド・プラネット・ジャパン**  
東証JQS 3350  
ファイナンス引受総額  
**17.5億円**  
(2014年7月実施)



**レカム株式会社**  
東証JQS 3323  
ファイナンス引受総額  
**5.5億円**  
(2014年7月実施)



**シンバイオ製薬株式会社**  
東証JQG 4582  
ファイナンス引受総額  
**15億円**  
(2014年12月実施)

■ 投資先選定について

これまでの経歴を活かし、主にICTやクロスボーダーというキーワードで投資先の選定を行っています。歴史がある企業、新興企業ともに、持続的な成長を遂げていくには、強みや資産、アイデアを活かしていく知恵やパワー、そしてリソースが必要です。また時代の移り変わりに伴い、新たな市場開拓や最新の技術なども取り込んでいかなくてはなりません。その様な成長可能性を秘めた企業を日々サーチし、眠れる強みや資産を活かしていくのも、私たちの使命です。

■ 注目の業界/業種 ■ IoT\*と親和性を感じられる業界、業種

執行役員  
投資事業本部

**木戸 康行**



\* IoT (Internet of Things) とは、「あらゆるモノがInternetを通じて接続され、モニタリングやコントロールを可能にする」といった概念・コンセプトのこと。



# FM軽井沢

## 77.5FM RADIO STATION

軽井沢エフエム放送株式会社



日本全国、全世界に  
インターネットで放送中



■ 事業内容

FM軽井沢は、長野県軽井沢町にある唯一の放送メディアで、軽井沢の地元住民はもとより、別荘所有者、観光客、全国のインターネットリスナーなど、多くの方々に親しまれています。



スタジオ (JR東日本軽井沢駅2F)

■ 主要株主

- Oakキャピタル株式会社
- 信濃毎日新聞株式会社
- 信越放送株式会社 (SBC)
- 株式会社長野放送 (NBS)
- 株式会社八十二銀行
- 株式会社プリンスホテル

代表取締役社長

**長谷川 隆也**  
(Oakキャピタル 取締役)



# Digital POST

デジタルポスト株式会社

■ 事業内容

PCやスマホから手紙やDMを送れる、デジタル郵便サービスを提供しています。

- 一般ユーザ向け
  - ネットから手紙を送れるWebサービス [DigitalPOST]
  - ネットから手紙を送れるスマートフォンアプリ
- パートナー向け
  - 印刷・郵送クラウド/ASPサービス
  - 印刷・郵送クラウド/APIサービス



はがきや手紙が送れる  
スマホアプリ

スタイリッシュなデザイン  
デジタル年賀

■ 主要株主

- Oakキャピタル株式会社
- 株式会社ソフトフロント
- 株式会社フライトホールディングス
- 東京リスマチック株式会社
- 株式会社日立システムズ
- 代表取締役社長
- 磯村 康典**  
(Oakキャピタル 執行役員)



取締役

**細田 和宏**  
(Oakキャピタル 執行役員)



Topics 1 パスへの再生支援投資



東証マザーズ 3840  
 ファイナンス引受総額  
 10億円

財務基盤の強化および企業再生投資

■ 会社概要(2014年9月30日現在)  
 代表者 代表取締役CEO 柴田 励司  
 設立 1990年(平成2年)5月  
 従業員数 10名  
 資本金 8億46百万円  
 U R L <http://www.pathway.co.jp/>

■ 事業内容  
 戦略コンサルティング事業  
 決済代行事業・EC事業  
 旅行事業

■ グループ概要  
 2014年7月1日付で商号を「パス株式会社」に変更。  
 (旧商号:イー・キャッシュ株式会社)  
 同時に経営体制を刷新し、新たな収益事業の創造やグループ全体での収益拡大を図る。



Topics 3 レカムへの成長支援投資



東証JQS 3323  
 ファイナンス引受総額  
 5.5億円

「業界No.1企業」への飛躍に向けた成長支援投資

■ 会社概要(2014年9月30日現在)  
 代表者 代表取締役社長 兼 グループCEO 伊藤 秀博  
 設立 1994年(平成6年)9月  
 従業員数 228名(連結)  
 資本金 7億4百万円  
 U R L <http://www.recomm.co.jp/>

■ 事業内容  
 ビジネスホン・デジタル複合機・セキュリティー商品・その他  
 OA機器の販売、設置工事及び保守サービスの提供、ホーム  
 ページ作成、携帯電話・PHSの販売、インターネット関連  
 サービスの提供及び前記事業のフランチャイズ展開、決済事業



Topics 2 レッド・プラネット・ジャパンへの成長支援投資



東証JQS 3350  
 ファイナンス引受総額  
 17.5億円

事業多角化推進に向けた成長支援投資

■ 会社概要(2014年9月30日現在)  
 代表者 代表取締役社長 小野間 史敏  
 設立 1999年(平成11年)6月  
 従業員数 46名(連結)  
 資本金 21億2百万円  
 U R L <http://www.redplanetjapan.com/jp/welcome>

■ 事業内容  
 (ホテル事業) クアラルンプールを拠点とした「チュングループ」とのフランチャイズ契約によるホテル運営  
 (飲食事業) 持分法適用関連会社である株式会社キーズダイニングの子会社である株式会社スイートスターが手掛ける  
 “カップケーキ”専門店「マグノリアベーカリー」等の運営  
 (ディストリビューション事業) 連結子会社であるダイキサウンド株式会社が支援するアーティストの音楽CD・DVD販売



チュンホテル沖繩那覇  
 (2013年8月開業)



マグノリアベーカリー  
 (2013年6月オープン)

Topics 4 シンバイオ製薬への成長支援投資



東証JQG 4582  
 ファイナンス引受総額  
 15億円

「スペシャリティ・ファーマ」を目指す成長戦略に向けた成長支援投資

■ 会社概要(2014年9月30日現在)  
 代表者 代表取締役社長 兼 CEO 吉田 文紀  
 設立 2005年(平成17年)3月  
 従業員数 72名  
 資本金 80億80百万円  
 U R L <http://www.symbiopharma.com/index.html>

■ 事業内容  
 医薬品販売事業  
 がん、血液、自己免疫疾患の3領域に特化し、他社から新薬  
 候補品を取得し製品化。

■ シンバイオ製薬は、多くのステークホルダーの皆さまと関わることで事業を展開しており、企業理念である「共創・共生」の実現を通じ、企業価値を高めていくことが、ステークホルダーの皆さまへ果たすべき責任であると考えています。

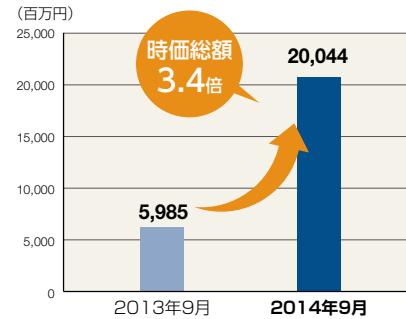


## Oakキャピタルの株式市場での評価 - 株価と出来高の推移



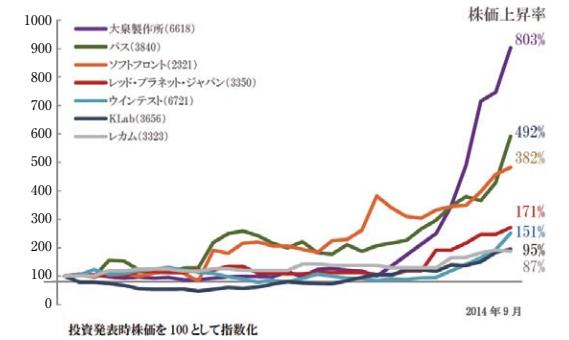
**出来高・売買代金は大幅増加**

2014年4月～10月  
出来高**4億2,000万株**  
(前期比 1.75 倍)  
売買代金**1,183億円**  
(前期比 3.5 倍)



## 投資銀行業務の成果と期待

- 新興市場企業(マザーズ・ジャスダック)を中心に、支援依頼が増加
- 当期より大型のエクイティファイナンス引受を実施
  - 1社当たり5～20億円の引受
- 2014年4月～9月の投資先企業のパフォーマンス
  - 投資先株価平均上昇率270%
  - 当中間期でキャピタルゲイン実績は19億円
- Oakキャピタル投資銀行業務に対する投資家からの期待度は高い
  - 投資後の投資先企業の株価は、再生期待に上昇



## 財務諸表(要旨)(非連結)

※金額については、単位未満を切り捨て表示しております。

### 財務諸表(要旨)

科目	(単位:百万円)	
	前期末 (2014年3月31日)	当第2四半期末 (2014年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産	3,941	6,756
固定資産	427	432
有形固定資産	55	56
無形固定資産	3	3
投資その他の資産	368	372
繰延資産	11	7
<b>資産合計</b>	<b>4,380</b>	<b>7,196</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	97	601
固定負債	90	97
<b>負債合計</b>	<b>187</b>	<b>699</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	4,186	5,690
評価・換算差額等合計	4	792
新株予約権	1	14
<b>純資産合計</b>	<b>4,192</b>	<b>6,497</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>4,380</b>	<b>7,196</b>

**Point**  
資産合計=前期末に比べ、28億15百万円増加し71億96百万円となりました。増加した主な要因は、営業投資有価証券の投資回収の進捗により現預金が増加したこと及び営業投資有価証券において当社が保有している上場株式の株価上昇により帳簿価額が増加したことによるものであります。

**Point**  
純資産合計=前期末に比べ、23億4百万円増加し64億97百万円となりました。増加した主な要因は、当期純利益の計上及び当社が保有している上場株式の株価上昇によりその他有価証券評価差額金が増加したことなどによるものであります。

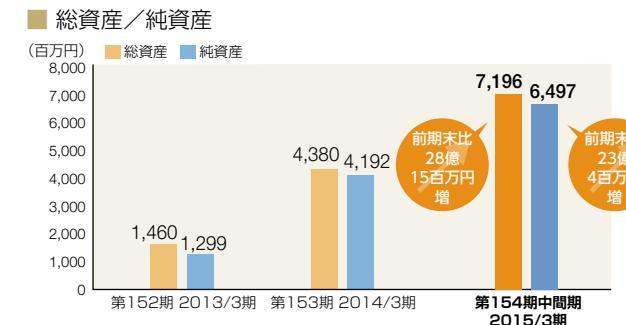
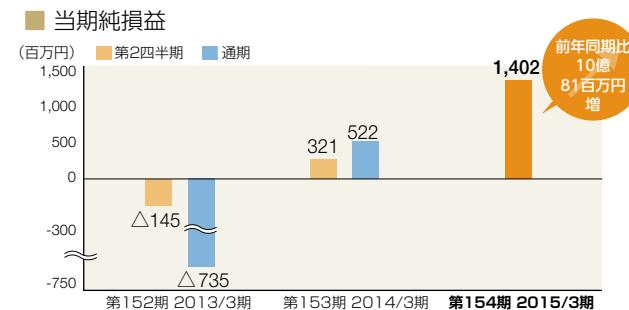
科目	(単位:百万円)	
	前第2四半期 (2013年4月1日～2013年9月30日)	当第2四半期 (2014年4月1日～2014年9月30日)
売上高	1,761	5,152
売上総利益	728	1,914
販売費及び一般管理費	363	414
営業損益(△は損失)	364	1,500
経常損益(△は損失)	363	1,501
特別損益(△は損失)	△ 41	13
税引前四半期純損益(△は損失)	321	1,514
法人税等合計	0	111
<b>四半期純損益(△は損失)</b>	<b>321</b>	<b>1,402</b>

**Point**  
四半期純損益=資金調達支援並びに再生企業向けの資本政策や成長支援を側面から支援する投資銀行業務が好調に推移した結果、収益が拡大したため、前年同期比10億81百万円増加の14億2百万円の純利益となりました。

科目	(単位:百万円)	
	前第2四半期 (2013年4月1日～2013年9月30日)	当第2四半期 (2014年4月1日～2014年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,894	2,142
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 627	9
財務活動によるキャッシュ・フロー	370	111
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,637	2,263
現金及び現金同等物の期首残高	130	1,349
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,767	3,613

**Point**  
営業活動によるキャッシュ・フロー=その主な要因は、税引前四半期純利益の計上及び投資回収の進捗により、営業投資有価証券が減少したことなどにより、前年同期比2億47百万円増加の21億42百万円となりました。

### 業績の推移



■ 会社概要

商号	Oakキャピタル株式会社	
創業	1868年	
設立	1918年	
資本金	34億52百万円	
市場	東証第二部(上場 1949年)	
主幹事証券	大和証券	
会計監査人	監査法人 日本橋事務所	
取引銀行	三井住友銀行、みずほ銀行、三菱東京UFJ銀行	

■ 役員

代表取締役 会長 兼 CEO	竹井 博康	
取締役	秋田 勉	管理本部長 兼 経理財務部長
取締役	長谷川 隆也	事業戦略室長
取締役※1	尾関 友保	元アクセンチュア(株) パートナー
取締役※1	宇田 好文	元(株)NTT ドコモ代表取締役副社長
執行役員	榎野 冬樹	投資事業本部 副本部長
執行役員	磯村 康典	投資事業本部
執行役員	木戸 康行	投資事業本部
執行役員	細田 和宏	投資事業本部
常勤監査役	高橋 英也	
監査役※2	永野 義一	弁護士
監査役※2	坂井 眞	弁護士
監査役※2	廣瀬 元亮	

※ 1. 会社法第2条第15号に定める社外取締役です。  
 ※ 2. 会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

発行可能株式総数…………… 86,000,000 株  
 発行済株式の総数…………… 47,828,620 株  
 株主総数…………… 19,694 名

大株主 上位 10名

株主名	所有株式数	持株比率
山崎 光博	3,614千株	7.56%
エルエムアイ株式会社	2,545	5.32
株式会社SBI証券	2,207	4.62
日本証券金融株式会社	1,288	2.69
楽天証券株式会社	932	1.95
竹井 博康	895	1.87
マネックス証券株式会社	698	1.46
BNPパリバ証券株式会社	690	1.44
バンクオブニューヨーク&ニューヨーク E&Fエフイー		
イノブシーエムクラリアトアガトイーエルエスピー (常任代理人株式会社三井住友銀行)	585	1.22
五味 大輔	550	1.15

注)持株比率は、自己株式(27,731株)を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
配当金受領株主確定日	3月31日及び中間配当金の支払いを行うときは9月30日
株主名簿管理人 (郵便物送付先)	〒107-8666 東京都港区北青山一丁目2番3号 株式会社アイ・アール ジャパン 電話0120-975-960(通話料無料)
	2014年6月27日より、株主名簿管理人を株式会社アイ・アール ジャパンに変更しました。

- **住所変更、単元未満株式買取・買増等のお申し出先について**  
 株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。  
 なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。
- **株主様のご住所・お名前に関する文字についてのご案内**  
 株券電子化実施に伴い、株主様のご住所・お名前の文字に、株式会社証券保管振替機構(ほふり)が振替制度で指定していない漢字等が含まれている場合は、その全部または一部をほふりが指定した文字またはカタカナに変換して、株主名簿にご登録いたしております。このため、株主様にご送付する通知物の宛先が、ほふりが指定した文字に置換えられる場合がありますのでご了承ください。株主様のご住所・お名前として登録されている文字については、お取引の証券会社等にお問い合わせください。



NIKKEI BUSINESS DAILY FORUM  
 日経産業新聞  
 フォーラム2014

強みを生かし企業を育てる

日時:2014年9月5日(金)  
 会場:イイノホール  
 Oakキャピタル協賛



日経産業新聞フォーラム2014は大盛況「再生・成長企業分析」  
 ～新興市場の今後の展望～

政府による経済・金融政策に対する期待感から国内経済は緩やかな回復基調がみられ、それに伴い、企業は積極的な設備投資や事業投資に向かうことが予想されております。このような環境のもと、当社は2014年9月5日に、日経産業新聞フォーラム2014「再生・成長企業分析～新興市場の今後の展望～」に協賛。  
 元イー・アクセス代表取締役社長の千本倅生氏、スガシタパートナーズ代表の菅下清廣氏に基調講演を、当社の投資先である新興上場企業4社の代表者にもご登壇いただき、企業再生・躍進のための「経営改革」をテーマに、「新たな経営力」で企業を再生、再成長を実現してきた事例の紹介と、企業価値の向上と成長戦略についての展望などについて語っていただきました。当日は、多くの企業経営者、ビジネスマン、個人投資家の方々にご来場いただき、大盛況の内に終了いたしました。

日経産業新聞  
 フォーラム2014  
 2014年9月5日(金) 18:00～20:00  
 会場:イイノホール  
 定額:500円 参加費:無料  
 参加者受付中

再生・成長企業分析  
 ～新興市場の今後の展望～

千本 倅生氏  
 イノベーションと企業創造  
 元イー・アクセス 代表取締役社長

菅下 清廣氏  
 再生企業の魅力と展望  
 スガシタパートナーズ 代表

高橋 英也氏  
 高い稼働力を軸にした事業展開  
 Oakキャピタルが選ぶ、  
 今注目の企業家たち

日本証券新聞社  
 成長戦略による新興No.1企業への訪問  
 http://adnet.nikkei.co.jp/

## IRサイト紹介

URL: <http://www.oakcapital.jp/ir/index.html> または

Oakキャピタル IR

検索

で検索してください。

Oak キャピタル株式会社 証券コード：3113

<http://www.oakcapital.jp/>

〒107-0052 東京都港区赤坂八丁目10番24号 住友不動産赤坂ビル

本社 TEL.03-5412-7474 FAX.03-5412-8282

投資事業本部 TEL.03-5412-7700 FAX.03-5412-8811



Facebook

<https://www.facebook.com/oakcapital.jp>